



医療生協さいたま

いのちとくらし

東日本大震災支援活動レポート

いのちを守り、
くらしをとりもどすために

医療生協さいたまの東日本大震災支援



東松島市宮戸島の被災住民を訪問する支援隊

医療生協さいたまは、失われた多くのいのち、そして今なお避難生活を余儀なくされている人びとへ思いを馳せながら、震災発生直後より支援をおこなってきました。これからも日々変化する「支援すべきこと」を被災地のみなさんとともに考えながら、息の長い支援をしていきます。

いのちを救いたい!

医療支援チームを派遣

3月13日より、医師・看護師2人・放射線技師・事務の5人1チームの支援隊を7次にわたり坂総合病院(宮城県塩釜市)に派遣しました。当初は道路も破損している中、現地にたどりつくことが大きな困難を伴っていました。原発事故の影響で、一度出発したチームが途中でもどらざるをえない時もありました。支援隊は、搬送された被災者の重症度を判定するトリアージ業務、夜勤業務などを行いました。埼玉協同病院でおこなっていた「災害時トリアージ訓練」が生きる結果となりました。坂総合病院では、職員も被災者となり、出勤できない状態の中、支援隊が病院機能の一端を担いました。また避難所を訪問して、診察や応急処置をおこないました。避難所の小学校で卒業式に遭遇し、支援隊もいっしょに卒業を祝い励ます場面もありました。



避難所の診療活動に参加した医療チーム

医療生協さいたまとは

医療生協さいたまは、医療・介護事業を通じて健康な暮らしづくりをめざす生活協同組合です。
〒333-0831 川口市木曾呂1317 ☎048-294-6111

松島海岸診療所周辺の 地域訪問を行い、 被災者の声を行政に届けました。

4月6日から、松島海岸診療所(宮城県松島町)に派遣先を移しました。この地域は深刻な被害の中、まだ支援の手が入っていない地域で、東松島市からも要請があり、被災者の実態調査を行いました。松島海岸診療所への支援隊は第8班まで、4月いっぱい行ないました。5月からは再び坂総合病院への医療支援隊を派遣しています。また全日本民医連被ばく問題委員である当法人の雪田慎二医師は、5月3日南相馬市で住民対象に行われた「放射線の人体への影響」についての学習会の講師を担当し、250人が集まりました。

訪問を喜んでくれた方と
思わず抱きあう下河介護福祉士

被災者の声に耳をかたむけて

- 乾いたヘド口が舞い上がって目や喉が痛いし、畳は大人二人掛りでも持てないほど重い。人手がほしい。
- 電化製品や、車が全滅、会社も流されたので、仕事がなく、収入がない。
今後はお金の支援や雇用に関する支援をして欲しい。
- 一人暮らしのお年寄りも多いので、一軒一軒徹底した訪問行動を行って、命を繋いでいくためのケアサポートをお願いしたい。
- 本当に話し相手が必要です。男性も女性も涙を流す必要がある。皆、話したがっているんです。

支援内容一覧

【支援隊派遣：坂総合病院】

(第1班)3月13日～15日
医師1 保健師1 看護師1 診療放射線技師1 事務1

(第2班)3月13日～15日
事務1

(第3班)3月16日～18日
医師1 助産師1 看護師1 診療放射線技師1 事務1

(第4班)3月18日～21日
医師1 看護師2 診療放射線技師1 調理師1 事務1

(第5班)3月22日～25日
医師1 看護師2 診療放射線技師1 理学療法士1

(第6班)3月26日～29日
医師1 薬剤師1 看護師1 事務1

(第7班)3月30日～4月2日
医師2 薬剤師1 看護師1 診療放射線技師1 事務1

【支援隊派遣：松島海岸診療所】

(第1班)4月6日～9日
診療放射線技師1 臨床検査技師1 介護福祉士1

(第2班)4月9日～12日
看護師1 事務2

4月9日～15日：看護師1 事務1

(第3班)4月12日～15日
保健師1 理学療法士2

(第4班)4月15日～18日
看護師1 ソーシャルワーカー1 診療放射線技師1

(第5班)4月18日～21日
看護師1 ソーシャルワーカー1 事務1

(第6班)4月21日～24日
保健師1 介護福祉士1 事務1

(第7班)4月24日～27日
看護師1 診療放射線技師1 事務1

(第8班)4月27日～30日
看護師1 介護福祉士1 ソーシャルワーカー1

【埼玉県内避難所支援：さいたまスーパーアリーナ】

(夜間医療支援)
医師7
(トリアージ)
3月19日～20日：看護師1
3月20日：看護師1
(夜勤)
3月20日～21日：助産師1 看護師1
3月23日：看護師1
3月23日～24日：保健師1
3月24日：看護師1
3月25日：看護師1
3月26日：看護師1
3月29日：看護師2
(健康相談)
3月29日～30日：保健師1
3月28日：歯科医師1 歯科衛生士2
(炊き出し)
3月28日：調理師1
3月29日：調理師1

【埼玉県内避難所支援：西スポーツセンター】

3月23日～週1回：
医師1 看護師1 事務1 組合員複数

【薬剤師派遣：坂総合病院】

4月11日～14日：薬剤師1
4月25日～28日：薬剤師1

【医師支援：坂総合病院】

4月16日～20日：医師1

【福島原発調査】

3月26日～27日、4月2日～5日、
4月9日～12日、5月1日：医師1

【物資支援】

3月17日：マスク5万枚
3月24日：生活物資6箱
3月28日：生活物資101箱
3月31日：生活物資36箱
4月6日：ウイルスオキシメーター5台
4月26日：飲料水1200L

助け合いの心を届けて

【埼玉県内の避難所支援】

避難者の出産を受け入れました

埼玉協同病院(川口市)は、福島県大熊町から避難している妊婦Aさんを受け入れ、3月26日無事出産しました。みんなの希望の光になるようにと「希美(のぞみ)」と名付けられ、TVや新聞でもとり上げられました。退院後は県営団地に入居することができました。



新しい命に希望を託して

県内避難所での夜間帯も含めた医療支援を行いました



避難所で巡回診療をする松本歯科医師

埼玉県内の避難所(スーパーアリーナ・避難者約3000人)へ、医師・助産師・看護師などが、医師会・看護協会に協力して医療支援に入り、特に体制が薄くなる夜間帯を担当しました。また組合員による炊き出しや歯科医師による避難所内の巡回診療を行いました。川口西スポーツセンターの避難所では医師が健康相談を、組合員が健康チェックを行うなど、さまざまなかたちで支援に入っています。秩父ミュージックパークの避難所では、秩父生協病院が秩父市立病院・市役所といっしょに支援体制を組み「健康相談」などをおこないました。

組合員の心がつまった支援物資

支援物資の呼びかけに対し、組合員などからたくさんの物資が集まりました。子育てサークルが、小さい子どもを持つお母さんたちが困っているだろうと、集めてくれた紙オムツや粉ミルクなども含め、衣類や食料品など、ダンボール101箱を届けることができました。また生協間連携を生かして、コープネットからマスク10万枚なども、全日本民医連を通じて被災地に届けることができました。



すぐ役立つよう分類しました

義援金を被災地に送りました

「東日本大震災支援募金」として医療生協さいたまの各事業所窓口で受け付けたり、組合員が地域や駅頭で呼びかけて、859万8272円の義援金(2011年5月9日現在)が寄せられた他、医療生協さいたまとして事業収益の中から1020万円を義援金として被災地に送りました。

全国の連合会の仲間と共に

医療生協さいたまは「日本医療福祉生活協同組合連合会」に、また医療生協さいたまの病院・診療所などは「全日本民主医療機関連合会」に加盟しており、その指示のもと全国の仲間とともに、支援活動をおこなっています。全国組織の支援行動計画にそって活動したことで、震災直後からいち早く支援隊を派遣したり、何が必要な支援物資なのかの情報を得ることができました。

「日本医療福祉生活協同組合連合会」は、医療福祉事業をおこなう生活協同組合(112生協が加盟)の連合会です。

「全日本民主医療機関連合会」は「いのちの平等」をめざす医療機関(全国1760事業所が加盟)の連合会です。

医療生協さいたまの安心のネットワーク

医療生協さいたまは、組合員どうしで、また職員が協力してさまざまなつながりの場をもっています。今回の震災でも日ごろのつながりが安否確認や励ましあいにも活用されました。

安心ルーム

ご近所どうしで定期的にあつまり、おしゃべりや食事会、手芸などをおこなっています。一人暮らしや高齢世帯が一人ぼっちにならないように、また、子育て中の組合員が集まる場など、県内に84カ所が開かれています。



健康ひろば



班・サークル



機関紙配布網

医療生協さいたまの機関紙「けんこうと平和」は、約1万人の組合員の配布ボランティアによって12万人の組合員に1軒1軒配られています。配布するときに、配布先の見守りや相談相手となっている配布者もいます。



緊急連絡カード

体調を悪くしたり、困ったことがあった時の連絡先をまとめて書けるようになっているカードを組合員に普及しています。



医療生協さいたまはトータルな健康づくりを実践しています。

医療生協さいたまは、医療・介護事業を通じて健康な暮らしづくりをめざす生活協同組合です。生協法に基づく住民の自治組織として、組合員と職員が病院や診療所、老人保健施設などの事業運営とともに、健康づくり・まちづくりなど、さまざまな取り組みを行っています。

医療生協さいたまの現況 (2011年3月末日現在)

・組合員数	230,364人
・出資金総額	6,131,018千円
・事業高	
医療事業高	15,135百万円
福祉(介護)事業高	3,724百万円